

サル痘について

2022年5月以降、欧州、北米等において、サル痘の感染例及び疑い例が報告されている。WHOは、7月23日、感染の拡大が続いているとして「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態（PHEIC）」を宣言。この2か月ほどで15,000例以上が報告されており、欧州からの報告が最も多い。

サル痘

- ✓ サル痘は**サル痘ウイルスによる感染症**で、1970年にヒトでの感染が発見されて以来、中央アフリカから西アフリカにかけて流行
- ✓ ウイルスには大きく分けて**コンゴ盆地系統群**と**西アフリカ系統群**の**2種類**があり、**コンゴ盆地系統群**は**西アフリカ系統群**に比較して、重症化しやすく、またヒトからヒトへの感染性が高いとされる。
(今回の感染では、**西アフリカ系統群**が検出されている。)
- ✓ 主にアフリカに生息するリスなどの**げっ歯類**をはじめ、サル、ウサギなど**ウイルスを保有する動物との接触によりヒトに感染**
- ✓ サル痘は**ヒトからヒトに感染することが稀にあり**、主に**接触感染、飛沫感染**をするとされている。
- ✓ ウイルスに曝露後、通常**6-13日**(最大**5-21日**)の潜伏期間の後に発症
- ✓ 発熱、頭痛、リンパ節腫脹などの症状が**0-5日**程度持続し、発熱**1-3日**後に発疹が出現
- ✓ 致死率は**1-11%**程度。特に小児において高い傾向にある。ただし、**先進国では死亡例は報告されていない**。(ナイジェリアで2017年9月～2022年7月10日までの800名のうち、致死率は3%)
- ✓ 日本において**特異的な治療法はなく**、対症療法が中心。欧州においては承認薬あり
- ✓ 天然痘ワクチンが、曝露後の発症予防及び重症化予防に有効とされる。

サル痘の発生状況について

国	確定例	国	確定例	国	確定例	国	確定例
スペイン	3125	ノルウェー	46	クロアチア	6	マルチニーク	1
米国	2316	オーストラリア	41	アイスランド	6	モロッコ	1
ドイツ	2191	メキシコ	40	シンガポール	6	パナマ	1
英国	2142	ハンガリー	30	エストニア	4	ロシア	1
フランス	1448	ポーランド	28	ベニン	3	サウジアラビア	1
オランダ	712	スロベニア	27	ブルガリア	3	セルビア	1
ブラジル	607	チリ	26	ドミニカ共和国	3	スロバキア	1
カナダ	604	ギリシャ	20	南アフリカ	3	韓国	1
ポルトガル	515	ルーマニア	19	エクアドル	2	トルコ	1
イタリア	374	ガーナ	18	インド	2	ベネズエラ	1
ベルギー	311	アルゼンチン	13	ラトビア	2	合計	15510
スイス	216	フィンランド	13	ニュージーランド	2		
ペルー	126	アラブ首長国連邦	13	台湾	2		
イスラエル	105	チェコ	12	バルバトス	2		
オーストリア	83	コロンビア	10	ボスニアヘルツェゴビナ	1		
スウェーデン	77	マルタ	9	コスタリカ	1		
アイルランド	69	ルクセンブルク	8	レバノン	1		
デンマーク	48	プエルトリコ	8	ジャマイカ	1		

注：Global.Healthによる2022年5月6日以降の各国報告数値のとりまとめ（7月21日時点）。WHO公表数字とは異なる。

出典：Our World in Data <https://ourworldindata.org/monkeypox>（2022年7月22日最終閲覧）

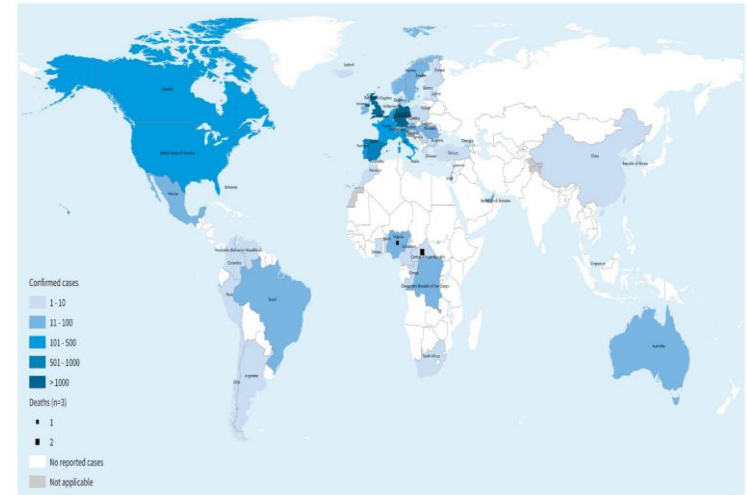
2022年サル痘の非流行国での流行について①

WHO. Multi-country outbreak of monkeypox, External situation report #1-6July.より

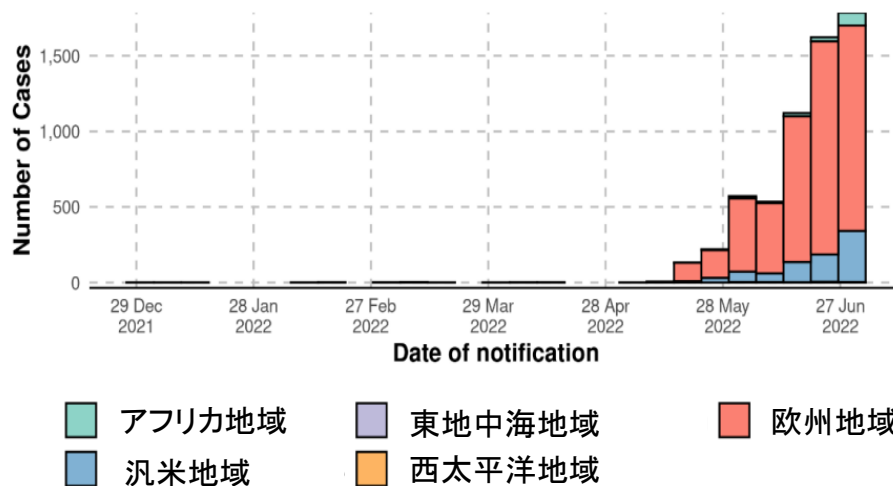
■疫学的特徴

- 2022年5月
 - 欧州で確認以降、各地で報告数が増加
- 7月4日現在、アフリカ8か国を含め59か国
 - 症例数6,027名、死亡者数3名

世界でのサル痘発生状況 2022年1月～7月4日



WHO地域区分ごとに見たサル痘発生状況 2022年1月～7月4日



Source: WHO

WHO地域区分	確定例	死亡例
アフリカ地域	173	3
汎米地域	902	0
東地中海地域	15	0
欧州地域	4,920	0
西太平洋地域	17	0
東南アジア地域	0	0
合計	6,027	3

6地域区分のうち5地域から報告

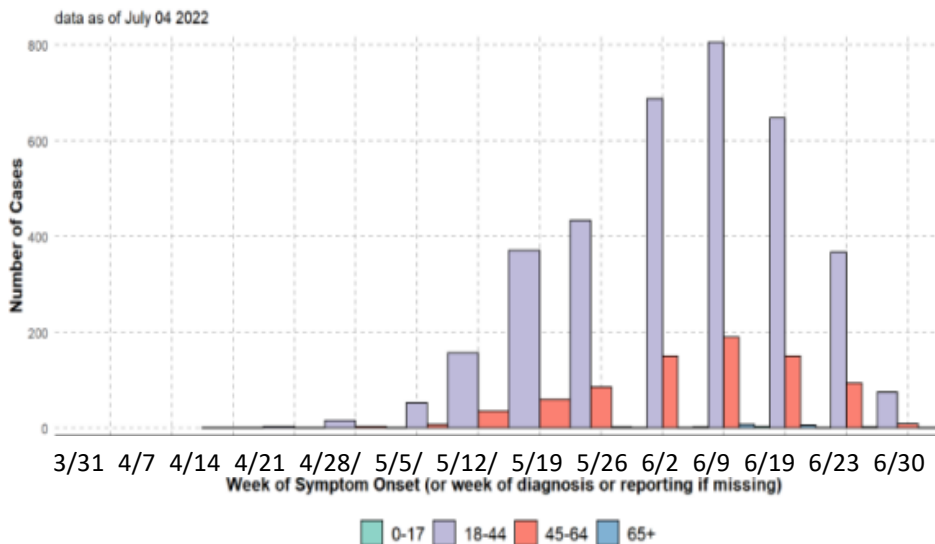
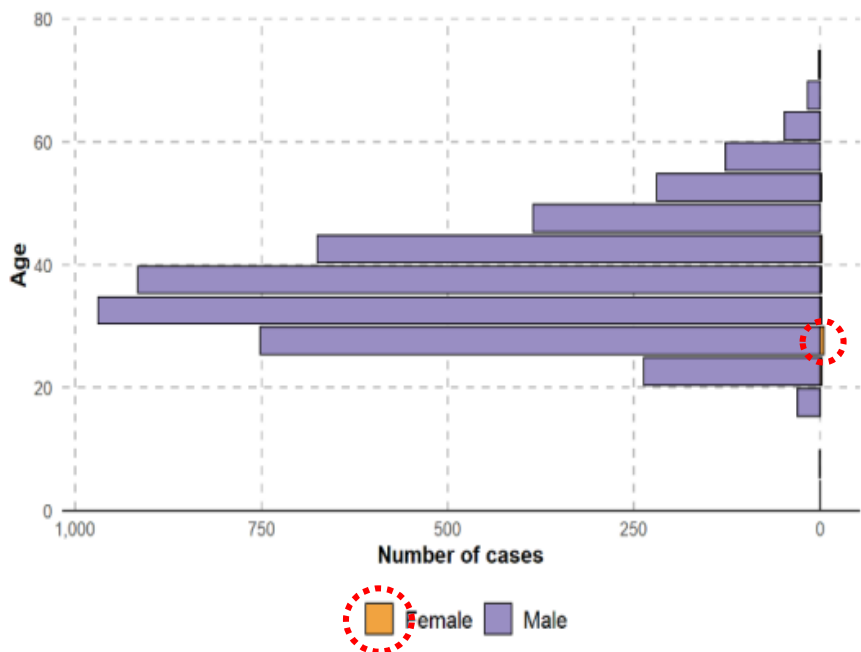
WHO. Multi-country outbreak of monkeypox, External situation report #1-6July.

<https://www.who.int/publications/m/item/multi-country-outbreak-of-monkeypox--external-situation-report--1---6-july-2022>

2022年サル痘の非流行国での流行について②

■疫学的特徴(6,027名中)

- 性別が判明している4,406名(73%)の解析結果
 - 4,385名(99.5%)が男性、年齢中央値37歳(四分位範囲:31~43歳)
 - 18歳~44歳男性は症例の79%を占め、不均等にこのアウトブレイクの影響を受けている
- 年齢が判明している5,584名の解析結果
 - 0-17歳は6名(0.1%)にすぎない



WHO. Multi-country outbreak of monkeypox, External situation report #1-6July.

<https://www.who.int/publications/m/item/multi-country-outbreak-of-monkeypox--external-situation-report--1---6-july-2022>

サル痘とは？

■サル痘はどのような病気ですか？

- ・ サル痘はウイルスによって感染する病気です
- ・ 一般的には発熱や発疹(ほっしん)、リンパ節の腫れ等の症状がみられますが、多くの場合、数週間で自然になおります。

■どのような症状に注意すればよいですか？

- ・ 体の部位に関係無く、発疹や水ぶくれなどがなくどうか注意してください。
- ・ その他、発熱、頭痛などの症状が見られる場合があります
- ・ 水ぼうそうなどの他の発疹を生じる病気との区別が難しいことがあります

■サル痘はどのように感染するのですか？

- ・ 主に感染した人や動物の皮膚の病変・体液、血液に触れた場合(性的接触を含む)、患者と近くで対面し、長時間の飛まつにさらされた場合、患者が使用した寝具等に触れた場合等により感染します

■サル痘を疑う症状があった場合はどうすればよいですか？

- ・ サル痘を疑う症状が見られた場合、最寄りの医療機関に相談してください
- ・ 受診の際は、自家用車など他人との接触をなるべく避けられる交通手段を用いるか、やむを得ず公共交通機関を利用する場合は、マスクの着用や発疹部位をガーゼなどでおおう等の対策をしてください。また、比較的空いている時間帯やスペースを選ぶなど、他人との接触を避けるよう行動しましょう。